

日時
授業場

児童 5年
授業者

1. 題材名 いろいろな音色を感じ取ろう～リボンのおどり (ラ バンバ)

2. 題材の目標

- (1) 音色, リズム, 旋律や音の重なりなどと曲想との関わりを理解するとともに, 各声部の楽器の音色や楽器の音の重なり合う響きに気を付けて, 音を合わせて演奏したり, 打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして音楽をつくる技能を身につける。
- (2) 楽器の音の組み合わせ方や重ね方を工夫した演奏の仕方や, 反復, 呼びかけとこたえ, 変化などを用いて, どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いをもったり, 曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
- (3) 友達と協働して音を合わせて表現したり, 様々な楽器の響きに気を付けてオーケストラの音楽を聴いたりする学習に興味をもち, 音楽活動を楽しみながら演奏や音楽づくり, 鑑賞に取り組む。

【本題材と学習指導要領との関連】

- A 表現 (2) 器楽 ア, イ (ア) (イ), ウ (ア) (イ) (ウ)
 (3) 音楽づくり ア (ア) (イ), イ (ア) (イ), ウ (ア) (イ)
- B 鑑賞 ア, イ

【共通事項】

- ・ (本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素) ア 音色, リズム, 旋律, 音の重なり イ 反復, 呼びかけとこたえ, 変化
- ・ 音符, 休符, 記号, アクセント, ヘ音記号

3. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 曲想と音色やリズム, 旋律の特徴, 音の重なりなどとの関わりを理解し, ト音譜表やヘ音譜表の楽譜を見て演奏している。 ② 楽器の音色や各声部の重なりによる響きと演奏の仕方との関わりを理解し, 全体の響きを聴いて音を合わせて演奏している。 ③ 打楽器の音の響きやそれらの組み合わせが生み出すよさを理解し, 音色やリズムを選択したり組み合わせたりしながら表現している。 ④ リズムのつなげ方や重ね方の特徴を理解し, それらが生み出すよさを理解しながら, 反復・変化などの要素を用いてリズムアンサンブルをつくっている。	① 楽器の音色や各声部の重なりによる響きを聴きとり, それらの働きが生み出すよさを感じ取りながらパートの重ね方を工夫し, どのように演奏するかについて自分の考えをもっている。 ② オーケストラの様々な楽器の音色, 旋律, 反復, 変化などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏のよさを見いだし, 曲全体を味わって聴いている。 ③ いろいろな楽器の材質や音の響き, それらの組み合わせを考えながら, 即興的に表現することを通して, 音楽づくりの発想を得ている。 ④ 打楽器の音色やリズム, 音の重なり, 反復, 変化などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら, どのようにリズムアンサンブルをつくるかについて思いをもっている。	① 楽器の音色や音楽の仕組みを工夫したときの音色の変化や音の重ね方に興味をもちながら, 演奏や音楽づくり, 鑑賞の学習に取り組もうとしている。

4. 題材のデザイン (全8時間)

主張する手立て

時	教材	○学習活動・学習内容 子供の姿(楽しさ)の変容	●主な教師の関わり・手立て	評価の観点			
				知	思	態	
1	リボンのおどり(ラバンバ)・器楽	○「りぼんのおどり」の旋律の特徴をつかんで演奏する。 ・「小さな約束」の楽曲と比べながら「りぼんのおどり」を聴く。 ・拍の流れを感じ取りながら「リボンのおどり」を演奏する。 ・手を打ちながらリズムを覚える。 ・へ音記号やへ音譜表の読み方について知る。 ・各声部を演奏する。	はじめてへ音譜(低音)が出てきたよ 「小さな約束」は短調だけど、今回の曲は長調で明るいな 楽しい雰囲気が出るような演奏したい	旋律の特徴をつかみながら演奏しよう(手だて①) ●旋律の特徴をつかみながら演奏することができる姿を引き出すために、「体を動かす」「リズムを口ずさむ」等、曲全体を捉えられるような声掛けを行う。 ●どんな雰囲気の演奏にしたい?(手だて②)	①	①	
2		～本時の展開参照～			①		
3		○各グループで「リボンのおどり」を演奏する。 ・互いの演奏を聴きあい、演奏の「よさ」について伝え合う。 ・音量のバランスを考える ・パートの役割を考えて演奏する ・重ねるタイミングを考えることが必要だ	だんだん盛り上がるような演奏をしていたね 音を重ねるタイミングを変えて、音の重ね方を工夫した	グループで考えた工夫を生かして演奏しよう(手だて①) ●演奏するときに意識したほうがいいポイントはあるかな?(手だて②)	②		
4		○オーケストラで使用される楽器の音色や響きを感じ取る。 ・これまでに学習してきた楽器(*2年:打楽器, 3年:金管楽器, 4年:木管楽器, 5年:弦楽器)を想起しながら、オーケストラで使用される楽器の音色や音の響きなどを聴き取り、それらの楽器のよさを感じ取る。	金管楽器は力強く聴こえる 木管楽器は優しい音のように聴こえる 4つに分類された楽器で演奏された曲は、どんな感じに聴こえるのだろうか?	オーケストラで使用されている楽器の音色を聴き取ろう(手だて①) ●それぞれの楽器の音が生み出す「よさ」って?(手だて②)			①
5		○主な旋律を演奏する楽器の音色や響きを感じ取りながら「祝典序曲」を鑑賞する。 ・前時で学習したオーケストラで使用される楽器が主な演奏する『音色』に着目しながら、「祝典序曲」を聴く。 ・曲全体を聴き、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを確かめる。 ・「祝典序曲」のよさについてワークシートにまとめるなどして伝え合う。	主な旋律を演奏する楽器がどんどん変わっていく!面白さを感じるなあ 始めと終わりにフアンファレがあっただけで、楽器を変えなよ、リズムもよく演奏されて、ききかたに感じる	楽器の音色に注目しながら「祝典序曲」を聴いて曲のよさを伝え合おう(手だて①) ●(聴き取ってまとめたことから)どうしてその部分がこの曲の「よさ」だと思ったの?(手だて②)		②	
6		○いろいろな楽器の音色の組合せを楽しむ。 ・音楽室にある楽器を鳴らして、それぞれの楽器の音の特徴を知る。 ・音の特徴(音色)を捉えながら、グループでリズムアンサンブルに使う楽器を選択する。 ・リズムを重ねて演奏し、楽器の組み合わせを確認する。	木や皮と金属でできた楽器は音の鳴り(響き)が違う トライアングルは鳴らしたら響きが続くから、リズムによっては「音を止める」も大事! リズムも楽器も重なるから、楽器を変えよう	楽器の音色や音の響きを生かしてリズムアンサンブルしよう(手だて①) ●アンサンブルにぴったりな楽器を選ぶ時のポイントは?(手だて②)		③	①
7		○リズムアンサンブルをつくる。 ・音楽の仕組み(反復、呼びかけとこたえ、変化)を生かして、グループでリズムアンサンブルをつくったり演奏したりする。	どんどん盛り上げるのに、楽器を増やそう お話しているみたいにするために「呼びかけとこたえ」を使おう!	オリジナルリズムアンサンブルをつくらう(手だて①) ●選んだ楽器や鳴らし方に合うリズムにするためにどんな工夫ができそうかな?(手だて②)	③		
8		○リズムアンサンブルを完成し、発表する。 ・オリジナルリズムアンサンブルの練習。 ・お互いの発表を聴きあう。 ・聴いて、気づいたことや感想を伝える。	選んだ楽器の組合せがよくて、高い音低い音の重なりがよいし、リズムに合ってる	オリジナルリズムアンサンブルを発表しよう(手だて①) ●どんな工夫があったかな?(手だて②)	④	④	

5. 本時の目標 (2/8)

楽器の音色や各声部の重なり・響きなどを聴き取ったり演奏したりすることを通して、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、「楽しく演奏するため」にどのような工夫ができるのかについての思いをもっている。

6. 本時のデザイン

主張する手立て

子供の学習活動・教師の働きかけ (●発問, ▲補助発問, ■指示・説明)	◆留意点 ※評価
<p>1. 学習課題を設定する。 ■前回どんなことを学習したかな？</p> <p>・「リボンのおどり (ラバンバ)」を聴いた ・へ音譜表の読み方を確認した ・短い曲だけど明るい曲ということがわかった・それぞれのパートの練習をした</p> <p>●最終的にどんな雰囲気での演奏にしたいのかな？ ・「楽しい」が伝わる演奏にしたい</p> <p>「リボンのおどり」を楽しく演奏するための工夫について伝え合おう</p> <p>2. 各グループで「楽しい」が伝わる演奏にするための工夫を考える。 ●楽しく「リボンのおどり」を演奏するために、どんな準備(どんなことを考える)が必要？ (手だて②)</p> <p>・曲の練習もする必要がある ・まずはどの楽器で演奏をするのか決める必要がある ・グループで演奏を合わせる必要がある ・「楽しい」を伝えるための工夫を考えることが必要</p> <p>■それぞれのグループで準備を始めよう。【話し合い・練習・合奏・撮影①】</p> <p>【曲の練習が必要だ！】 ・タッカのリズムを意識して演奏する ・アクセントを考えて演奏する ・へ音譜の読み方をよく確認して演奏しよう</p> <p>【グループで合わせる必要がありそうだ！】 ・テンポをしっかりと刻みながら演奏する ・リピートがあるけれど何回旋律を演奏するのか決めた方がよい ・自分のパートの役割を考える</p> <p>【どの楽器で演奏するか考える必要だ！】 ・タンバリンや太鼓を使ってリズムをとるといいかも ・動きがある旋律は鍵盤楽器がよさそう ・低音が伴奏になるから、はっきりと音の鳴るオルガンとかで演奏してみるといいと思うよ ・「楽しい＝明るい音」だと思っから、高い音の出る楽器にした方がよさそう</p> <p>【「楽しい」演奏にする工夫】 ・楽器を全部違うものにしたら演奏が楽しくなりそう【音色】 ・誰がどのタイミングで演奏するか決めないと・・・【重ね方】 ・最後は盛り上げるために、全員で演奏してみるの？【変化】 ・音の大きさを変えるのも楽しくなりそう【強弱】</p> <p>▲iPadで撮影した自分たちの演奏を聴いて、さらに工夫できそうなことは？ 【話し合い・練習・合奏②】</p> <p>・それぞれのパートの入る順番を変えたりするのはどうかな？ ・打楽器を中心にして盛り上げる感じはどうかな？ ・旋律と低音を重ねてみるのはどうかな？</p>	<p>◆前時までに、「どんな雰囲気の演奏にしたいのか」を共有・確認したうえで課題設定を行う。(手だて①)</p> <p>◆演奏の工夫についての話し合いに加え、曲の練習もしっかりとできるよう、十分な時間を与えられるよう、教師の方で時間のマネジメントを行う。</p> <p>◆グループは7～8人とする。</p> <p>◆グループで出した工夫については、楽譜を拡大し工夫を書き留めるシートにまとめておく。</p> <p>◆自分たちの演奏をiPadで撮影して聴き合う活動も取り入れる。</p> <p>※</p> <p>B: 楽器の音色もしくは各声部の重なりによる響きを聴きとり、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながらパートの重ね方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いをもっている。 (発言, 演奏)</p> <p>A: 楽器の音色や各声部の重なりによる響きを聴きとり、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながらパートの重ね方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いをもっている。 (発言, 演奏)</p>
<p>3. 次時への見通しをもつ。 ■次の時間の発表に向けて、どんなことを意識するとよさそうかな？</p> <p>・「楽しい」演奏するためには「重ね方」や「いろいろな変化」を考えて演奏するとよさそう ・まだばらばらとした演奏になっているから、同じグループの人たちの演奏をよく聴いて、息を合わせて演奏しないと楽しいにならないよ ・どこかのパートだけが大きく出してしまうとバランスが悪くなってしまいます。自分のパートの役目をよく考えて演奏するといいかもかもしれないよ</p>	